

## 環境のトビラ

### ココがスゴイ!

国の「特別天然記念物」、  
県のシンボルの鳥「県鳥」に  
選ばれている!

### 生息場所



標高2200~2400m以上の高い山の上。  
岐阜県では乗鞍岳(3026m)、笠ヶ岳(2898m)、  
御嶽山(3067m)に生息。高い山の上に見える背の  
低い植物「ハイマツ」のしげみの中に巣をつくる。

### 1年の過ごし方

6月に5~6個の卵を産んで、  
7月に卵がかえる。  
夏から秋にかけて子育てをする。  
冬には寒さから身を守るため、  
雪の中にもぐること。



### 羽毛の色

1年に3回も変わる!

夏



オスは背中が黒色、  
メスは黒色と黄色の  
まだら模様。

秋



黒色・黄色・灰色の  
まだら模様。

冬



雪のように真っ白!  
オスは目の周りが  
黒い。

写真提供：環境省

## これが岐阜県の鳥! ライチョウだ!

高い山の上で生息し、めったにお目にかかれない  
ライチョウは、自然豊かな岐阜県のシンボル!  
みんなはライチョウについて  
どのくらい知っているかな?  
驚きの生態を探ってみよう。

### 食べるもの

高山植物の芽や実、  
昆虫など



### 名前の由来

漢字では「雷鳥」。  
天敵をさけるため、雷が鳴るような  
天気の良い日にしばしば姿を見せる  
ことからその名がついたとされる。

### 大きさ

体長 約35~40cm  
体重 約450~550g

この紙面の  
縦幅ぐらいの  
大きさだよ!

## 絶滅の危機…!?

### みんなでライチョウを守ろう

ライチョウは数が減り、絶滅の危機にさらされています。原因は、これまでライチョウが生息する寒くて高い場所に来ることがなかったキツネやイタチ、テンなどが、地球温暖化の影響などで登って来るようになったこと。これらの動物はライチョウをおそいます。また、ライチョウのエサを食べつくしてしまうシカも高い場所へ登って来ています。

この大ピンチからライチョウを守ろうと、全国で保護の取り組みが進んでいます。みなさんも自分にできることは何か、考えてみてくださいね。

### 夏の山を楽しむために

#### ①かばんに鈴をつけよう

クマなどの野生動物におそわれないためには、「会わない」ことが大切。鈴が鳴ることで野生動物は、人間がいることに気づき、近寄って来なくなります。

#### ②山に持ち込まない 山のものを持ち帰らない

木の実や花、虫などの生き物を山に持ち込んだり、持ち帰ったりしてはいけません。これは山の自然を守るため。靴の裏などについた土もしっかり落としましょう。

#### ③準備はしっかりと!

自然を相手に油断は大敵。ライチョウがいる高い山では、夏でも朝夕は厚着が必要なほど寒くなります。山にうれしい人と一緒に、準備をしっかり行いましょう。